



**出来事**

- 1590年(天正18) 徳川家康が江戸入り
- 1603年(慶長8) 幕府樹立
- 1634年(寛永11) 「日光東照宮」完成
- 1665年(寛文5) 「盗賊改」を設置
- 1683年(天和3) 「火付改」
- 1703年(元禄15) 赤穂浪士討ち入り
- 1716～35年(享保元～20) 享保の改革、第8代将軍徳川吉宗によって主導
- 1728年(享保13) 町奉行大岡越前守の命で江戸府内に組織化された町火消しが設置
- 1772年(明和9) 明和の大火
- 1782年(天明2) -1787年(天明7) 天明の大飢饉
- 1789年(天明9) 天明の大火
- 1806年(文化3) 文化の大火
- 1833年(明治16) 「鹿鳴館」
- 1894年(明治27) 「三菱一号館」(復元)
- 1896年(明治29) 「日本銀行本店」
- 1909年(明治42) 清澄庭園の「涼亭」、両国の回向院境内に「旧国技館」
- 1914年(大正3) 「東京駅丸の内駅舎」
- 1914年(大正3) 「三越呉服店(三越日本橋本店)」
- 1923年(大正12) 帝国ホテル(明治村に移築)
- 1928年(昭和3) 「旧東京市営店舗向住宅」
- 1929年(昭和4) 「三井本館」
- 1929年(昭和4) 「帝都復興展覧会」が日比谷公園内で開催
- 1929年(昭和4) 「JR両国駅旧駅舎」、「千代田小学校と千代田公園」
- 1930年(昭和5) 「震災記念堂」、「荒川放水路」が完成
- 1931年(昭和6) 「東京都復興記念館」が開館
- 1932年(昭和7) 総武線両国-御茶ノ水開通、「旧東京市深川食堂」
- 1933年(昭和8) 「東京中央郵便局」、「清洲寮」
- 1934年(昭和9) 「明治生命館」
- 1966年(昭和41) 「横山町奉仕会館ビル」
- 1995年(平成7) 阪神・淡路1号新神戸トンネル開通
- 2011年(平成23) 東日本大震災
- 2019年(令和元) 令和の即位

**社会基盤**

- 1590年(天正18) 浅草に抜ける「本町通り」沿いに金座や町年寄の屋敷地を下賜
- 1592年(文禄元) 千鳥ヶ淵、牛ヶ淵のダム建設
- 1604年(慶長9) 日本橋に五街道の起点を設定 各街道に一里塚
- 1620年(元和6) 伊達政宗が牛込橋付近から泉橋までの開削
- 1636年(寛永13) 日光街道が開通 飯田橋から赤坂溜池までの外堀の完成
- 1660年(万治3) 塀川、北十間川、大横川、横十間川開削
- 1787～93年(天明7～寛政5) 寛政の改革、老中松平定信が徹底的な緊縮財政、株仲間や専売制を廃止した。
- 1789年(寛政元) 長谷川 宣以(平蔵) = 「鬼平」が、関八州を荒らしまわっていた大盗、神道(真刀・神稲) 徳次郎一味を一網打尽
- 1840年(天保11) 遠山景元北町奉行に就く
- 1841年(天保12) 天保の改革、老中首座の水野忠邦
- 1853年(嘉永6) 浦賀に黒船、お台場建設
- 1858年(安政5) 安政の大獄
- 1859年(安政6) 6月から横浜・長崎・箱館の3港に居留地
- 1860年(安政7) 1月に勝海舟らが咸臨丸で米国に、3月3日桜田門外の変
- 1868年(慶応4/明治元) 江戸城が明治政府軍に明け渡される。江戸を東京に改称
- 1911年(明治44) 現在の石造アーチ橋「日本橋」に
- 1927年(昭和2) 現在の「千住大橋」に
- 1926年(大正15) 復興橋梁の一番手として現在の「永代橋」が完成
- 1931年(昭和6) 現在の「吾妻橋」に
- 1927年(昭和2) 「聖橋」、「柳橋」、「蔵前橋」、「駒形橋」
- 1928年(昭和3) 「清洲橋」、「言問橋」/ 1929年(昭和4) 「蔵橋」
- 1940年(昭和15) 「勝鬃橋」

**橋**

- 1594年(文禄3) 千住大橋
- 1603年(慶長8) 日本橋(現在の日本橋・銀座中央通りが整備される)
- 1661年(寛文元) 「両国橋」
- 1693年(元禄6) 「大橋」
- 1698年(元禄11) 「永代橋」
- 1774年(安永3) 「吾妻橋」
- 1912年(明治45) 「新大橋」
- 1977年(昭和52) 現在の「新大橋」に

**暮らし**

- 寛永年間初期に大伝馬町に木綿問屋開業
- 1656年(明暦2) 吉原移転
- 1684年(貞享元) 富岡八幡宮で春と秋の2場所の勧進相撲
- 1702年(元禄15) 「おくのほそ道」刊
- 1717年(享保2) 桜もちが向島の長命寺の門前で売り始め
- 1722年(享保7) 本屋仲間が幕府より公認
- 1733年(享保18) 両国川開き花火創始
- 1805年(文化2) 日本橋を描いた絵巻「熙代勝覧」
- 1823～31年(文政6～天保2) 「富嶽三十六景」葛飾北斎
- 1825年(文政8) 「東都近郊図」
- 1832年(天保3) 「東都名所」歌川広重
- 1833年(天保4) 「東海道五十三次絵」歌川広重(鶴屋 喜右衛門、保永堂)
- 1849年(嘉永2) 「江戸切絵図本」
- 1856～58年(安政3～5) 「名所江戸百景」初代および二代歌川広重
- 1857年(安政4) 「分間懐宝御江戸絵図」(須原屋戎兵衛)
- 1817年(文化10) 「江戸實測図」

**絵図・浮世絵**

- 1608年(慶長13) 頃 「慶長江戸絵図」
- 寛永年間初期 「江戸図屏風」(歴博)、「江戸名所図屏風」(出光美)
- 1642～43年(寛永19～20) 「寛永江戸全図」
- 1657年(明暦3) 「新添江戸之圖」
- 1670～71年(寛文10～11) 「新板江戸大絵図」(経師屋加兵衛)
- 松尾 芭蕉 (寛永21/1644年 - 元禄7/1694年)
- 葛飾 北斎 (宝暦10/1760年 - 嘉永2/1849年)
- 歌川 広重 (寛政9/1797年 - 安政5/1858年)
- 伊能 忠敬 (延享2/1745年 - 文化15/1818年)